特定非営利活動法人
日本医師事務作業補助研究会
JSMOA Japanese Society of Medical Office Assistants

2016年10月12日発行

愛知・岐阜　第1回　三河地区会

愛知・岐阜支部　第1回三河地区会　2016年3月22日（土）13:30～16:00
開催地：総合青山病院　5階　講義室
広げよう！実務者の輪

基調講演 【災害時の医療】

～東日本大震災から5年　大学病院時代の経験を中心に～

講師：総合青山病院　院長　　小森 義之先生

東日本大震災から5年がたち、「DMAT」として実際に災害時医療を行った総合青山病院　院長　小森義之先生より災害時医療について講演をして頂きました。

平成7年1月17日に発生した阪神淡路大震災の際、初期医療体制の遅れ、災害医療についての課題が浮き彫りとなり、この教訓を生かし「DMAT」が発足されました。「DMAT」発足後の大規模な活動は平成23年3月11日に発生した東日本大震災でした。全国から「DMAT」が出動し初期医療を行いました。小森院長が実際に出動した時の様子、活動後数年たって再度被災地を訪れた時の様子など、写真をもとにお話し頂きました。

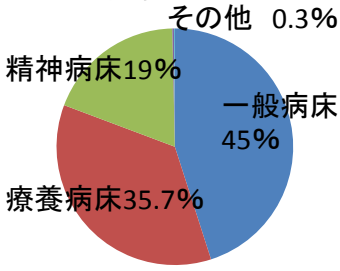
南海トラフ地震が起こるといわれているこの地域で、今出来ること、災害時に医療人としてどのような行動を起こすことが必要であるかをご講演頂きました。

東三河医師事務作業補助者アンケート結果

総合青山病院 医療サービス課　杉野幸代

愛知県

東三河地区の病床割合



平成27年7月～8月に医師事務作業補助者について、東三河地区にある41医療機関にアンケートを行いました。そのうち、30医療機関から回答を頂きました。（回答率73%）

回答頂いた30医療機関の中で、医師事務作業補助体制加算を算定している医療機関は10医療機関でした。また、算定していない20医療機関のうち、医師事務作業補助者と同様の業務をしているスタッフがいると回答したのは4医療機関でした。

医師事務作業補助者と同様の業務をしているスタッフはいないと回答したのは14医療機関でした。この医療機関は、療養病床、精神病床を有する医療機関でした。

平成28年4月より加算条件が変更となり、今後、東三河地区での医師事務作業補助者が増加すると考えられるため、数年後に同じアンケート調査を行いたいと思います。

情報交換会

座長：藤田保健衛生大学　教授　米本 倉基先生

情報交換会を始める前に、今回参加した医療機関の代表者に、病院の概要・業務内容などを紹介をして頂きました。

その後のグループワークでは、実務者同士が、業務の悩み、新しい業務の導入方法、新入職者への教育などについて、自由に情報交換を行いました。終了後のアンケートには、「もっと時間が欲しかった」という意見もあり、各グループで充実した情報交換ができたようです。

病院紹介

参加申込時に、下記を記入して頂き、会場内に掲示致しました。

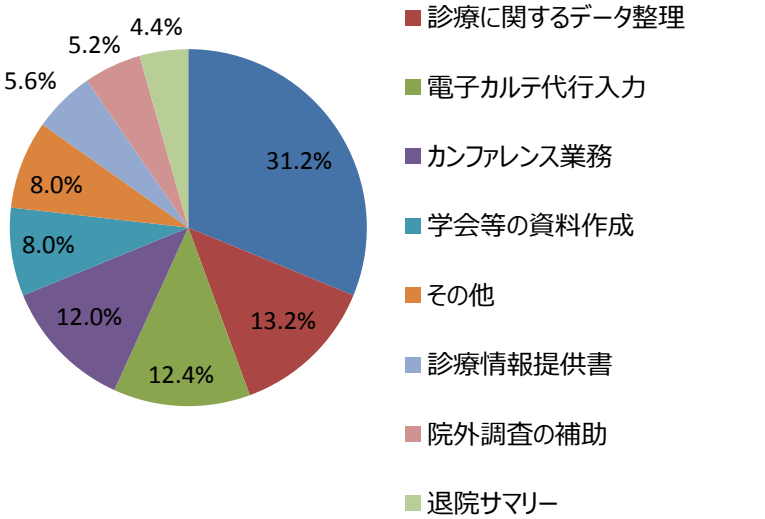
・医療機関名　・市町村名　・所属
・職名　・加算割合　・導入年月日
・人数　・制服　・業務内容

他の医療機関がどういう業務を行っているか共有することが出来ました。

愛知・岐阜支部活動報告

NPO法人日本医師事務作業補助研究会 愛知・岐阜支部　支部長　小島 敏美

実際に助かっている業務



愛知・岐阜支部が発足し1年11ヶ月が経過致しました。今回は、三河地区で初めての開催ということもあり、今までに当支部で開催した地方会についてと、当支部で行ったアンケート結果をご報告致しました。
平成27年9月に4病院、107名の医師に、「実際に助かっている業務」「どんな業務を行ってほしいか」「どんな人が医師事務作業補助者に適しているか？」についてアンケートを行いました。どんな人が適しているかという質問では、「医療知識がある」「コミュニケーション力がある」「PCスキルがある」など想像していた回答のほかに、「笑顔・美人」「ポジティブ・明るい」「空気が読める」などの回答がありました。左のグラフは実際に助かっている業務の結果です。

地区会を開催して　　総合青山病院　杉野　幸代

愛知・岐阜支部として「地区会」を初めて行いました。会場も愛知の東側、静岡県との県境という場所でしたが、三河地区をはじめとし、三河地区以外や県外からの医療機関の方々が多く参加していただくことができました。

内容も医学講座でなく「地震」というテーマで行い、「DMAT」という医療チームを細かく講演していただきました。その後4月11日熊本地震が発生し多くの「DMAT」が災害派遣されました。参加された方は今までと違う目線で地震の報道を観たと思います。今後この地域でも起こるといわれている南海トラフ地震。今回学んだ事をもう一度思い出していただき、準備をしっかりしていきたいと思います。

今後、三河地区会を継続して開催し、実務者の情報交換の場としていきたいと思います。今回ご参加していただいた医療機関の皆さま、ご参加いただきありがとうございました。

愛知・岐阜支部　支部長より　　小島　敏美

今回、当支部世話人、総合青山病院　杉野幸代さんの熱い要望で、三河地区会を開催致しました。地区会に先立ちアンケートに協力して頂いた東三河地区の医療機関の皆様、総合青山病院　院長　小森先生をはじめ、地区会の運営、準備をして頂いた総合青山病院の皆様、関係者の皆様、地区会を一緒に盛り上げて頂いた村瀬先生、米本先生、ありがとうございました。
最後になりますが、ご参加頂いた皆様、ありがとうございました。愛知・岐阜支部は、　参加者の皆様の貴重なご意見・ご感想をもとに、今後も医師事務作業補助者の知識習得、スキル向上に繋がる活動を行っていきます。
今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。